

1. 試料交換器の準備

別途試料交換器の使用方法を参照のこと。

2. ソフトの使用方法

- Menu より Auto(QXAFS)を選択する。
- 左上の白矢印を押し、開始する。
- 以下の項目について入力を行う。
 - 測定角度条件
 - ◇ 測定開始角度、測定終了角度、ステップ角度、測定時間を入力する。詳細は別途 “ Quick scan XAFS マニュアル ” を参照のこと。
 - ディレクトリ
 - ◇ ファイル保存先選択ボタンを押すとダイアログが開く。
 - ◇ データファイルを保存するディレクトリを選択する。
 - Check
 - ◇ 試料ホルダーの と対応しているので、測定する試料 にチェックを入れる。
 - ◇ 緑点灯している試料を測定する。
 - Sample Name, Save File Name
 - ◇ サンプル名 (データファイル内に記録される) とデータファイル名を入力する。
 - Piezo tune
 - ◇ チェックを入れた試料は測定開始時に、測定角度範囲の中点位置でロッキングカーブを測定する。
 - Auto Gain Set
 - ◇ ON(緑点灯)であれば、自動でアンプゲイン設定をする。
 - ◇ 直接入力する場合は、OFF(緑消灯)にする。ゲインを入力するとサブレーションは自動で切り替わる。
- 左上の “ start? ” ボタンを押す。
- 以降は測定終了まで操作は必要なし。
- 途中で停止したい場合は、左上の赤丸を押す。

自動測定の流れ

ダークカレントを測定する。($10^6 \sim 10^{10}$)

アンプゲインを 10^6 に

DSS Open

測定開始角度に移動

ロッキングカーブ測定

試料を移動 測定を繰り返す

測定終了点に移動

ロッキングカーブ測定

試料を移動 測定を繰り返す

測定ゲインが決定

Auto Gain Set が off
の場合は省略される

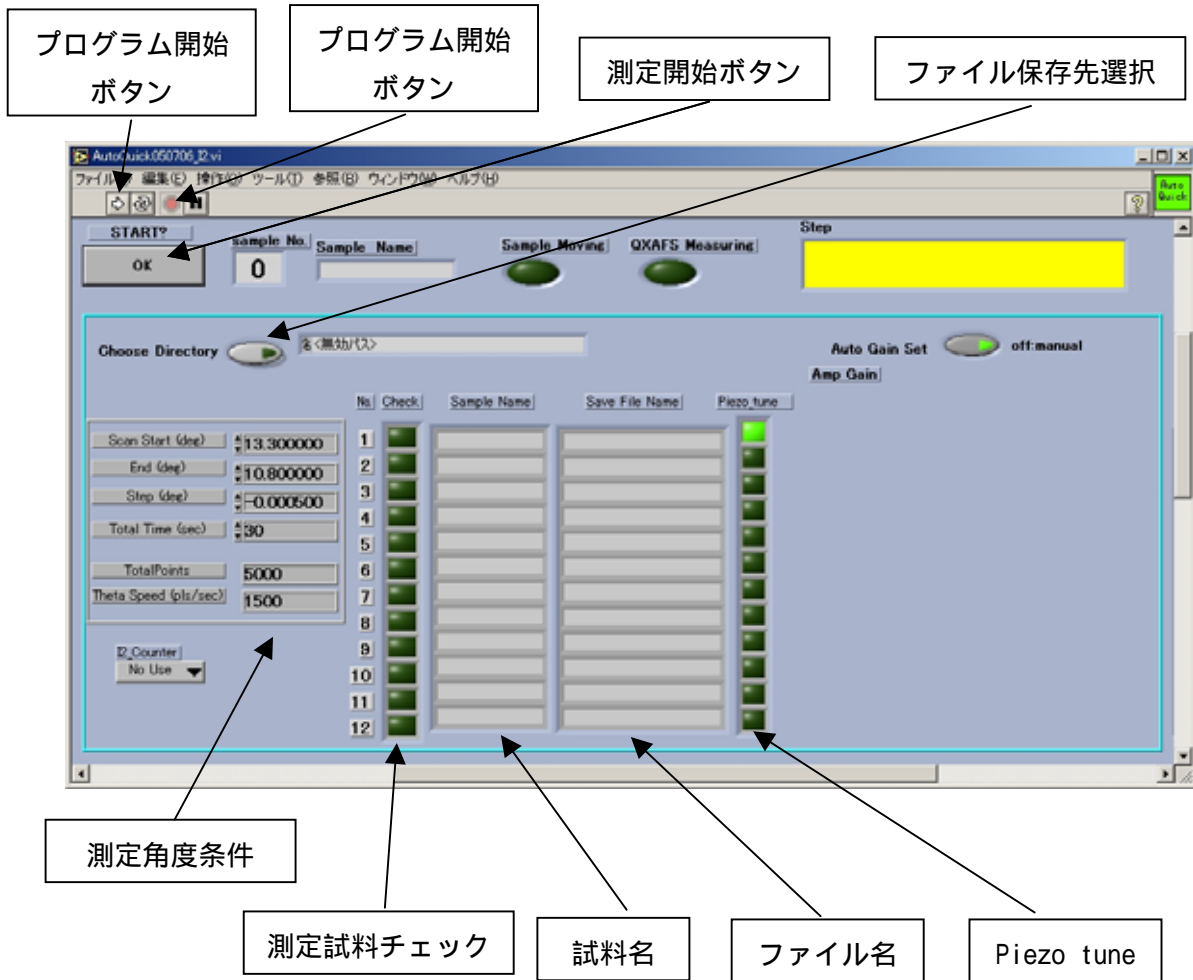
最初の測定試料位置に移動し、ゲインをセットする

測定回数分繰り返す

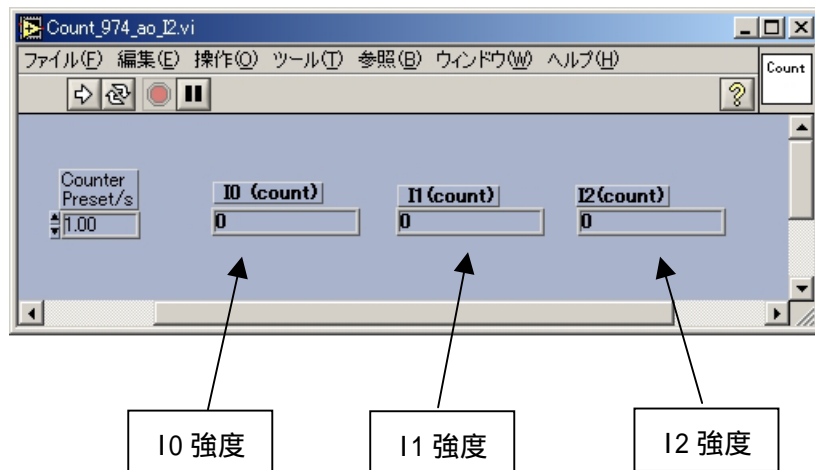
QXAFS 測定開始

終了

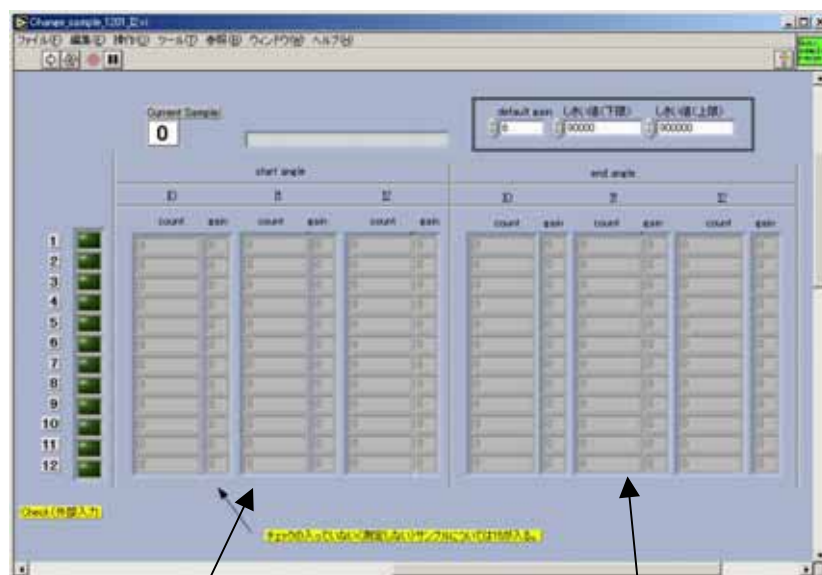
・画面（メイン）



・画面（ビーム強度測定時）



・画面（ゲイン調整時）



測定開始角度での
10,11,12 強度

測定終了角度での
10,11,12 強度